

# 5 平野・山ノ井町



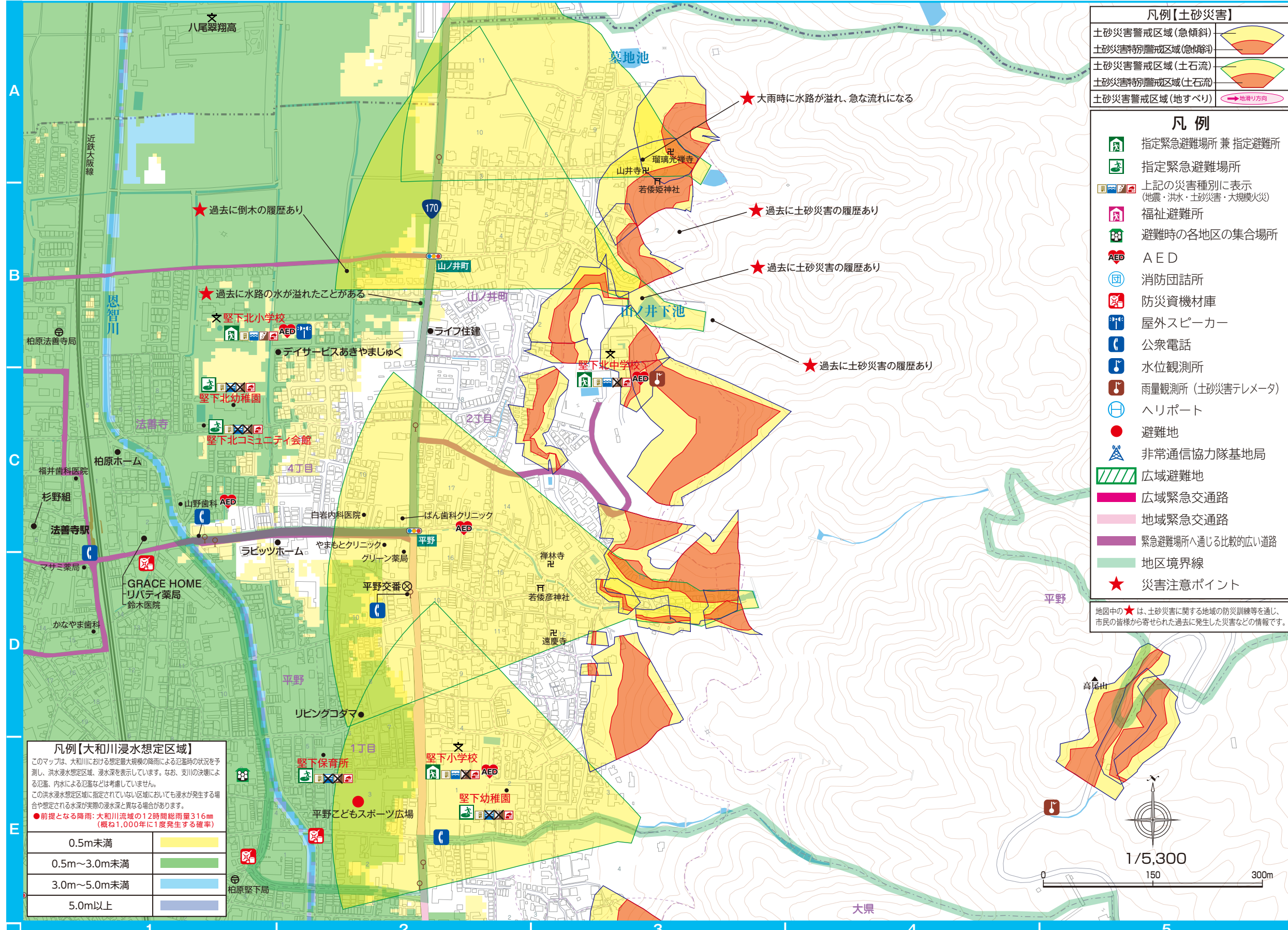
**重大な消防法令違反対象物の公表制度**  
 建物の利用者自らがその危険性に関する情報を入手し、建物を利用する際の選択、判断が出来るよう、消防機関が立入検査で重大な消防法令違反を確認した場合、その建物の名称や所在地、違反内容等をホームページで公表する制度を平成30年4月1日より実施します。  
 詳しくは、  
**柏羽藤消防組合 消防本部予防課**  
**TEL072-958-9928**

**震度による揺れの感じ方**

震度7	多くの建物が倒壊。大きな地割れや地すべり、山崩れが発生するおそれもある。
震度6強	立っていることが難しい。かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損する。
震度6弱	立っていることが難しい。かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損する。
震度5強	タンスや重い家具が倒れたり、ブロック塀が崩れることもある。
震度5弱	家具が動いたり、食器や本が落ちたり、窓ガラスが割れることもある。
震度4	眠っている人のほとんどが目覚めます。歩行中の人も揺れを感じる。
震度3	棚の食器などが音をたてることもある。
震度2	つり下がっている電灯などがわずかに揺れる。
震度1	屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。

**土砂災害特別警戒区域における移転・補強助成**  
 柏原市では土砂災害対策として、土砂災害特別警戒区域内にある家屋を対象に、区域外へ家屋の移転や既存家屋の補強工事に対し、その費用の一部について助成を行っています  
 対象者：柏原市内の土砂災害特別警戒区域内にある住宅にお住まいの方  
 (ただし、土砂災害特別警戒区域が指定される前から建築されている住宅に限る)  
 ① 区域外へ移転する場合  
 既存家屋の撤去費、新たな家屋の購入・建設費および土地の購入費の一部を助成します。  
 ② 既存の家屋を補強する場合  
 補強工事を行うための設計費および補強工事費の一部を助成します。  
 ※ 助成には限度額があります。詳しくは下記までお問合せ下さい  
 詳しくは、柏原市道路水路整備課まで **TEL072-972-1597**

**木造住宅耐震化への支援(耐震診断・改修補助金制度)**  
 昭和56年5月以前に建設された木造住宅の耐震診断・耐震補強への補助制度です。  
 費用の9割を実施後に補助  
 ○ 耐震診断  
 住宅を調査し、大規模地震に対する安全性を評価することです。一般的な戸建て木造住宅の場合、耐震診断の費用は5万円かかりますが、上限4万5千円の補助があります。  
 ○ 耐震補強への補助  
 耐震診断の結果、住宅の耐震性が不十分な場合に耐震性を高める補強工事を行うことです。一般的な戸建て木造住宅の場合、40万円の補助があります。  
 詳しくは、柏原市都市計画課建築指導係まで **TEL072-972-1593**



**凡例【土砂災害】**

- 土砂災害警戒区域(急傾斜)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

**凡例**

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 上記の災害種別に表示(地震・洪水・土砂災害・大規模火災)
- 福祉避難所
- 避難時の各地区の集合場所
- AED
- 消防団詰所
- 防災資機材庫
- 屋外スピーカー
- 公衆電話
- 水位観測所
- 雨量観測所(土砂災害テレメータ)
- ヘリポート
- 避難地
- 非常通信協力隊基地局
- 広域避難地
- 広域緊急交通路
- 地域緊急交通路
- 緊急避難場所へ通じる比較的広い道路
- 地区境界線
- 災害注意ポイント

地図中の★は、土砂災害に関する地域の防災訓練等を通じ、市民の皆様から寄せられた過去に発生した災害などの情報です。

**凡例【大和川浸水想定区域】**  
 このマップは、大和川における想定最大規模の降雨による氾濫時の状況を予測し、洪水浸水想定区域、浸水深を表示しています。なお、支川の決壊による氾濫、内水による氾濫などは考慮していません。  
 この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。  
 ●前提となる降雨：大和川流域の12時間総雨量316mm(概ね1,000年に1度発生する確率)

0.5m未満	
0.5m~3.0m未満	
3.0m~5.0m未満	
5.0m以上	